

特定非営利活動法人日本パラ射撃連盟 2024年度第3回理事会議事録

日時 2025年1月8日(水) 18:30~20:00

場所 日本財団パラスポーツサポートセンター内会議室 Japan
およびオンライン会議(Zoom)

出席者

理事 8名中8名出席

対面出席 田口垂希理事、粟生由紀理事、岸高清理事、馬渡崇理事
野口尚伸理事、久米高治理事

委任状出席 成山悟史理事(岸高清理事に委任)、北村網為理事(馬渡崇理事に委任)

監事 対面出席 菅野利雄監事

陪席 長谷川勝壽会長、ハイパフォーマンスディレクター 田中辰美

議事録署名人: 馬渡崇理事、野口尚伸理事

長谷川会長から、議長は田口理事が務めるように指示があり、異議なく承認された。

田口理事から、議事録署名人に馬渡理事、野口理事の二名が提案され、異議なく承認された。

〈長谷川勝壽会長挨拶〉

今年は非常にいろいろな問題があるが、再出発というところで皆さんのお力を借りてスムーズに運営できるようにお願いしたいと思っている。今までと違いスタッフの中に野口さんなどが入り、色々な方面から見ていただき、気が付くところが多くなった。また菅野監事も的確に指示を纏めてくださった。問題点を考えていければと思う。

【審議事項】

〈第1号議案〉 2025年度専任強化スタッフの配置、職務分掌、謝金及び就業条件について

田中 HPD から 2025 年度の専任強化スタッフの謝金及び就業条件、スタッフの配置役職について説明がされた。

補足説明

猪坂コーチがナショナルコーチ B から、ナショナルヘッドコーチに変更、中重コーチがナショナルコーチ A からナショナルコーチ B に変更。

質疑応答

- ・交通費は含まれているのか。人によって遠征費と通勤費はどうなるのか？(岸高理事)
→通勤は在宅のためなし、遠征費の交通費の支給はある。(田口理事)
- 移動費に関しては、強化費から充当する。(田中 HPD)
- ・この体制にするにあたって、パリ後に何が不足していて、人を決める前に何をしないといけないのかその提案があって決めるべきでないのか(野口理事)
→前回の理事会でも指摘をし、今回の理事会で方針について具体的な案を出してもらう

予定だったが出てこなかった(田口理事)

・勤怠管理はどうなっているのか。(岸高理事)

→フォーマットに記入し四半期ごとに JPC へ提出している。勤務の提出の流れは、会長・専務理事がチェックしないといけないため、会長に確認をしてもらっている。(田中 HPD)

・多く予算が出た場合は、トレーナーも採択するという話になっていたが、今回の資料には記載がないがどうなったのか(田口理事)

→今回の資料では、トレーナーの部分については、予算がどこまで増えるのかわからないので記載ができていない。一人の人を雇えるのに足りるような金額がもし増えるのであれば、考慮に入ってくる。実際ニーズとしては配置したいというのはある。専門職を幅広く配置したいが、コーチの数が必要だということで今回のような配置でやっていこうと思っている。(田中 HPD)

→設置をしたいのであれば、今回の資料には、概算で入れておくべきだと意見がでた。HPD 含めたコーチの布陣は承認した。強化の戦略(強化の課題、方針、中長期の強化計画)は助成金が決まったところで理事会に答申するとし、謝金の割合は強化の戦略とともに金額が固まったところで田中HPDから案を出してもらい、理事会で審議することとなった。

<第2号議案> 2025 年度強化事業計画について

田中 HPD から 2025 年度の強化事業計画について説明がされた。

補足説明

次世代選手にも力をいれていきたいため合宿も強化指定選手と合わせて行うとし、ピストルが今強化指定になるものが一人もいない状況のため、ピストルの合宿をライフルとは別に行う計画を示した。助成金配分についても説明をした。世界選手権、アジアパラに向けて1年間を使いしっかり力を付けていく時期にしていくと説明がなされた。

質疑応答

・最終決まった金額でどこに重点をおくのかをきちんと示してほしい(野口理事)

→助成金が3月ごろに決定するため、助成金確定後、改めて強化事業計画については審議することで承認された。

<第3号議案> 強化指定選手の追加発表について

田中HPDから全日本パラで片山選手、望月選手がランクCの基準点を撃ったため、強化指定選手ランクCに追加指定になり、金尾選手がランクBの基準点を撃ったためランクBへカテゴリー変更される説明がされた。

補足説明

辻尾選手はランクCの基準点を撃っているが、強化指定選手になってもランクCの場合、金銭的な援助は無いので、指定を受ける意思がないことが報告された。選手の支援としてお金を配分していくというところに反映していかなければならないという意識があることを田中HPDから報告がされた。

質疑応答

・ランクの飛び級は認められるのか。(馬渡理事)

→飛び級はない。ワールドカップの派遣対象にもならないことは、説明は重々した上での判断になる(田中HPD)

→飛び級はないので、Cを通らないとBになれないこと、Aから急に強化指定に入ること
はできないことを改めて説明することを条件として全員異議なく承認された。

→飛び級について特段の規程はないと説明したが、後日田中 HPD より強化指定をされて
いない選手が B ランク以上の基準点を達成した場合達成したランクの強化指定を受ける
ことは想定されていたため、飛び級での強化指定に入ることは可能であると修正があった。

<第4号議案> 育成選手の追加発表及びカテゴリー変更による指定解除について

田中HPDから全日本パラで大滝選手が基準点を撃ったため、育成選手への追加と、片
山選手、望月選手は強化選手に指定されたため、育成選手からは解除となることが報告さ
れ承認された。

<第5号議案> 2025 年度派遣方針および合宿等(案)について

田中HPDから 2025 年度派遣方針および合宿等(案)について説明がされた。

質疑応答

・資料内文章のクラス分けと記載があるが、クラス分け受験のためだけに国際大会へ行
けるのか。(田口理事)

→大会に参加せずにクラス分けだけを受けることは出来ない(田中HPD)

→国際クラス分けだけを受けにいきたい人が多々いるが、今は大会に出場しないとクラ
ス分けを受けられないので、クラス分けのみは不可などの記載をするようにと指摘した。

・予算金額が確定した後、それに伴い急に合宿が中止となる可能性はあるのか。(野口理
事)

→あまり中止になることはないが、予算がない場合は、選手自費で計画をして行ってき
た。スポンサーのお金を活用したいと思っており、理事会に相談にあげる可能性がある。(田
中HPD)

→第一案のような形で出すのは良いが、強化費が決まり、事業計画に見直した上で、最
終案を出すように田中 HPD に指示がなされた。

<第 6 号議案> 2025 年 WSPS ワールドカップ・チャンピオン大会選手派遣規程につい
て

田中HPDからアジパラのMQSが獲得できる試合であり、日本から近いとため比較的安
くいくことができ、育成選手、IPCライセンスを持っている選手、国際クラス分け受けていな
い選手など含め幅広く派遣の対象にしたいと説明がされた。

補足説明

一種目エントリーできるのが、各国 3 名までのため、あふれた場合は、春季パラの結果で選考を
するとした。大会の費用については、基本的には選手は、自己負担という示しておきながら

予算の配分がどこまで可能かっていうのをしっかり検討した上で強化指定のランクA、ランクBには一部連盟負担するということを示している。

質疑応答

・辻尾選手は、強化指定か育成選手になっていないため、チャンウォンWCには出場ができないということか。(粟生理事)

→IPCライセンスの申請はしてきているが、強化指定、または育成選手になっていない(田中HPD)

・クラス受験について先ほどと同じく書き方を工夫するのと、大会日程を記載したほうがいいと思った。費用の部分はA、Bは一部連盟負担にしているが、予算が出ていないところで言い切っているが問題はないのか。(田口理事)

→いくら金額を出せるっていうのはまだ確定してないところである(田中HPD)

以上の質疑があり規程案として承認された。

<第7号議案> 定款変更内容

弁護士と司法書士に定款の変更の相談をし、修正をした内容を共有した。東京都へ事務所を移すことから司法書士から都庁相談員へ事前に確認をしていただいた。実際に審査の段階で、修正指示が出る可能性があるが、現状は問題がないということである。第38条第2項の議事録作成について、「署名、押印しなければならない」となっているが「署名又は記名、押印しなければならない」に変更したほうが議事録を作成しやすいのではないかと提案が都庁よりあったため、合わせて変更するとした。

1月24日の臨時総会で審議にかけることで承認された。

<第8号議案> 法人格変更(一般社団法人立上げ)

2025年から1年をかけて一般社団法人へ法人格変更をする方針を共有した。会費の問題があるので、2026年の1~3月には新団体を立ち上げ、新団体で会費を集めるとした。報告事項とし臨時総会であげ、6月の定時総会で審議に回すことで承認された。

<第9号議案> ビームパラ種目の見直しについて


ビームパラ種目については、国内ルールと国際ルールの狭間でクラス分けなどの諸問題を抱えている現状がある。競技力をあげるために、実銃を持たない人も続けていけるように守っていきながら、ビームパラ種目を国際大会ルールに準じたルールに変更を今後検討していくとの方針が承認された。

2025年1月20日

議事録署名人

特定非営利活動法人日本パラ射撃連盟

議長 田口重希 

理事 野口尚伸 

理事 馬渡美 

以上

